

# 2021年10月1日～2025年9月30日の間に 川崎医科大学附属病院 整形外科において 人工股関節全置換術を受けられた方及びご家族の方へ

## —「中年人工股関節全置換術女性患者におけるサルコペニアの有病率と 術後転帰：後ろ向き研究」へのご協力のお願—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学高齢者医療センター リハビリテーションセンター 理学療法士 篠永篤志  
研究分担者 川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 理学療法士 松本浩実  
川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 理学療法士 上川真奈  
川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 理学療法士 畷田 侑  
川崎医科大学 脊椎・関節整形外科学 講師 古市州郎  
川崎医科大学 脊椎・関節整形外科学 教授 三谷 茂

### 1. 研究の概要

サルコペニアは、骨格筋量の減少に加え、筋力や身体機能の低下を伴う状態であり、近年では高齢者だけでなく中年者（50歳以上65歳未満）においても評価の重要性が指摘されています。特に、Asian Working Group for Sarcopeniaが提唱するAWGS2025では、中年者に対する新たな評価基準が示されています。

人工股関節全置換術（THA）を受ける女性患者では、加齢に加えて術前の疼痛や活動量低下により筋肉量が減少し、サルコペニアを合併する可能性が高いと考えられます。しかし、中年女性のTHA患者におけるサルコペニアの頻度や、術後の回復に与える影響については十分に明らかになっていません。

本研究では、中年女性のTHA患者を対象に診療録を用いた後ろ向き観察研究を行い、サルコペニアの有病率を明らかにするとともに、その有無が術後経過に与える影響を検討します。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2021年10月1日～2025年9月30日の間に川崎医科大学附属病院整形外科において人工股関節全置換術の治療を受けられた50歳以上65歳未満の女性を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027年3月31日

#### 3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において人工股関節全置換術の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにサルコペニアの判定に必要な体組成計にて測定した筋量および握力のデータを選び、手術後の回復

の経過に関する分析を行い、サルコペニアがどのように手術後の回復過程に影響かするかについて調べます。

#### 4) 使用する情報の種類

情報：年齢、併存疾患（治療中の病気）、手術の方法、手術前の筋肉量（体組成計で測定した筋肉量）、握力、手術後の身体機能（歩行速度、下肢筋力、痛みの程度など）

#### 5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学高齢者医療センター リハビリテーションセンター

氏名：篠永 篤志

電話：086-225-2112 内線41500（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-225-2110

E-mail：a-shino-reha@hp.kawasaki-m.ac.jp

### 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。